



株式会社 宮崎日日新聞社

創業：1940年 従業員数：222人
宮崎市高千穂通1丁目1-33
TEL 0985-26-9315 / FAX 0985-20-7254
https://www.the-miyanichi.co.jp/

Web版はこちら



こんな仕事をしています。

宮崎日日新聞社は現在、発行部数16万2000部を誇る、宮崎県を代表する報道メディアです。新聞発行だけでなく、文化、芸術、スポーツなどのイベントを企画・開催し、県民の皆さんの生活の向上にも大きく関わっています。

宮崎日日新聞社ではたらく人にインタビュー

宮崎のために何かできることはないかと考えた結果、情報発信ができる新聞社に記者として入社しました。書いた記事が実際に紙面に載る喜びは何ものにも代えがたいです。これからも皆さんに読んでもらえて、より信頼していただけるような記者になりたいです。



編集局報道部
宝徳光彬さん

入社以来、イベント事務局事業部でスポーツや文化関連の催しの企画・運営を担当しています。イベントは何か月前から準備が必要で大変ですが、成功したときはこれ以上ない達成感を味わえます。今後は大きな企画展を手掛けて、多くの人に喜んでもらいたいです。



イベント事務局事業部
松井裕美子さん

新聞はどのようにして作られているのかな？

毎朝、家のポストに届く新聞は、たくさんの人の手と様々な工程をへて作られています。その一部を紹介します。



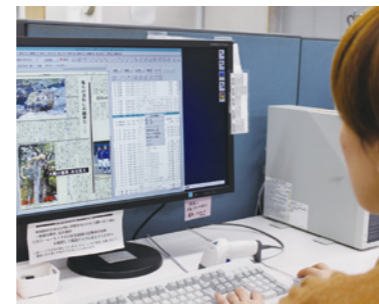
①取材・撮影

まず、記者がいろいろな人から話を聞いたり、調べたりして材料を集めて記事を書きます。カメラで現場の写真を撮ることもあります。



②デスク(チェック)

書いた記事を記者が「デスク」と呼ばれる担当者に送ります。デスクは記事を読み、間違いがないか入念にチェックします。



③整理(レイアウト)

デスクがチェックした記事は「整理部」に回され、紙面を組んでいきます。皆さんが目にする新聞のレイアウトは、だいたいここで決まります。



④印刷

整理部で作った紙面のデータは、最終チェックをしたあと、夜に佐土原町にある印刷工場に送られ、印刷が始まります。1時間に12万部印刷します。



⑤配送・配達

できたての新聞は毎朝トラックで県内各地の販売店に運ばれます。配達員が自転車やバイクに乗せて、一軒一軒、皆さんの家に届けます。

無事届きました～！



毎日時間とたたかいなんだねー!!

記者がどんな仕事をしているのか見てみよう！



宝徳光彬さん
2020年入社。1年目より報道部の記者として様々な部門で活躍。現在は官公庁を担当。

～宝徳さんのとある一日～



AM9:00

新聞のチェック

出勤したらまず新聞をチェックすることからスタート。自社はもちろん、他社の新聞にも目を通します。



お昼はあいた時間にとりま～す！

PM12:00

記事を書くための取材

今日は官公庁の担当者を取材。事前にアポイントをとって話を聞く場合もあります。この日はほかに3人を取材。



今日も一日おつかれさま！

退社

担当している記事ができあがったら今日の仕事は終了。今日はほぼ通常の時間に終わりましたが、日によっては夜遅くなることも！



PM17:00

デスクと打ち合わせ

書いた記事をデスクに送り、チェックしてもらいます。内容についてデスクに聞かれることもあり、手直する場合もあります。



PM15:00

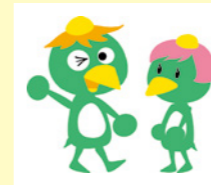
記事の作成

取材が終わったら会社に戻ってすぐに記事を書きます。締切の時間があるので「速さ」と「正確さ」が大事！

宮崎日日新聞社ではほかにもこんな仕事をしています

「宮日子ども新聞」の発行
毎週土曜日に宮崎日日新聞をとっている家にお届けしています。みんな見たことあるかな??

宮日子ども新聞キャラクター「じゃーじゃ」▶



生活情報紙「きゅんと」の発行
第1・3木曜日発行のフリーペーパーです。グルメやレジャーなど、様々な情報がいっぱいです！

新聞以外での情報発信
新聞だけでなく、ホームページや携帯サイトを使った情報発信に取り組むなど、社会のニーズに柔軟に対応しています！

